

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 母指CM関節症の経年的画像変化の研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 教授 池上 博泰

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科では、母指CM関節症※1の経年的画像変化を検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、母指CM関節症の治療方法の開発や適切な治療介入時期につながります。

※1 母指CM関節症は手の使いすぎ等で母指の付け根に痛みを生じ、日常生活が困るほどの症状に至ることが多いとされる疾患です。

病態は、母指の手前の甲の骨（第1中手骨）と手首の小さい骨（大菱形骨）の間の関節（第1手根中手骨関節：CM関節）が使い過ぎや老化に伴って、関節軟骨の摩耗が起き、進行すると関節が腫れ、亜脱臼してきて母指が変形してきます。

【研究対象および方法】

この研究は、（東邦大学医療センター大橋病院）倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2007年4月～2022年3月までに、母指CM関節症と診断され、東邦大学医療センター大橋病院 整形外科において定期診察をしている方（約500人を対象としています。）

方法：診療録からさまざまな情報を抽出し、そのデータを集めて解析を行います。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、画像評価（単純X線や単純CT画像、MRI画像）

【研究組織】

施設名：東邦大学医療センター大橋病院 研究責任者：池上 博泰 役職：教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【利益相反について】

この研究は、整形外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の

責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

※研究対象者が高齢者や死者の場合、家族からのオプトアウト申し出に対応します。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター 大橋病院 整形外科

職位・氏名 教授 池上 博泰

電話 03-3468-1251 内線 2032